

第13回学長カフェ【2019.7.3】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
国際観光	1	図書館について TOEIC対策の勉強にあたり、図書館で参考書などを求めると古いものしか置かれていない。最新のものを準備して欲しい。	図書館 TOEICやTOEFLなど多数ある資格・試験対策資料をどこまで揃えていくか、意見を取り入れながら対応しているが、判断が難しく苦労している。しかし、現実には最新の資料が揃っていないことは事実であるため、現在所蔵している古い版については最新版を購入する等の作業を進めていきたい。	図書館に希望を出す方法はいくつでもある。新しい希望図書を全学的に公募したり、選書ツアーを実施したり、直接依頼する方法もある。もっと図書館のサービスを知って、積極的に利用して欲しい。
	2	公欠について① まずは前回意見させていただいた後、実際に先輩から留学体験がレクチャーされたりと改善された部分もあった。学長cafeのおかげだと感謝したい。 留学VISA申請に関して、福岡の領事館に行く必要があり、領事館から指定されるのは平日で、やむを得ず授業を欠席せざるを得ない。事情が分かるグローバルツールの先生などは公欠として受理してくれるが、他の先生は認めてくれない。この欠席を、大学として公欠として取り扱って欲しい。	教務課 規程に準じて受付を行っています。個々の理由があることはと思いますが、公欠にならない場合でも、欠席しなければならない事情のために1/3以内の欠席は受験資格を有するようになっている現状をご理解下さい。	公欠制度は、規程に準じて運用されている。学生には個々の事情があり、学長の裁量でそれらを1つ1つ吟味して公欠を認めていくというのは極めて難しい。とは言え、VISAの取得は留学に必要な手続きであるため、まずはグローバルツールの先生に制度改正を依頼して欲しい。
	3	公欠について② 自分は駅伝部以外にも他のサークルに所属しているが、そのサークル活動では公欠の対象にならない。公欠制度を緩和できないでしょうか。	学生課 公欠を前提としての授業を行っている訳ではありません。どうしても欠席せざるを得ない事情の場合は、規程の範囲で公欠制度を利用してください。現状では公欠制度について規定等を変更する予定はありません。	公欠のルールを拡張し、際限なく公欠を認めていくことはできません。授業に全て出席することが大前提であり、規程にあるやむを得ない事由に限り公欠としている。公欠も欠席は欠席なので、勉強に遅れがでることは自覚して欲しい。公欠のルールに私自身矛盾を感じることもあるが、ルールを曲げることはできない。
	4	夜間の大学施設利用について 前回の学長cafeで、図書館が閉館する21時以降は安全配慮のため原則下校、国家試験対策などで教員待機を条件に薬学部は23時まで、という話だった。しかし、実際に21時以降に教室に残っている学生を見ることがある。 他学部でも国家試験や資格の勉強を大学で集中してやりたいという希望はある。薬学部だけというのは公平性を感じない。	教務課 / 総務課 【総務課】 夜間に学生を残すことによる場合、教職員の採用配置を行うか、残業により勤務せざるを得ない。現状、本学の人員費及び労務管理上、人員を配置するための財源確保が課題となる。そのためには学納金収入を増やす必要があるが、現在大学として定員を充足（一部超過）しており、学生数を大幅に増やすことは文部科学省の定員管理の政策もあり困難。別の方策としては学納金の値上げがあるが、これも、学生の経済的負担を考えると簡単にはできない。加えて政府が進めている働き方改革に関して、労働者の勤務時間や健康管理を機関が適切に行い、強化するための各種の法令が施行されており、長時間労働につながる施策の実施は、困難な状況。なお、開国祭直前など特別な理由のある場合を除き、所定の時間以降も教室に残っている場合は下校させるよう警備員に徹底させたい。 【教務課】 学食2階のラーニング・コモンズについては、通常19時まで利用できますが、試験期間の際には21時まで利用できるよう対応をしていますので、ご利用下さい。	薬学部では、先生方が話し合いをもち、安全面を考慮して教員が待機していることを条件に23時まで許可している。このルールが守られていないとするならば、それを改めるよう学長として学部長に提言する。 他学部でも希望があり、先生方が話し合いの上、特定の教室（ラーニングコモンズなど）・特定の時期に限り、また誰かが責任者として残ることを決めれば考慮したいが、安全管理上、全ての教室を深夜まで開放することは学長として認められない。
	5	空手道場について 現在、法人本部の上階を練習場として使用しているが、施設の老朽化や破損、風通しなど環境が悪化している。道場移転の話があったが、その後どうなっているのか。 またMGLゼダンスの体育館を使用する話もあったが、1年生の誰かが入寮することが条件と言われ、今更どうすることもできない。	小田先生 法人本部棟3階を練習場としておりますが、支柱があることから正式なコートで練習ができず、更には施設の老朽化や破損、風通しなど環境が悪化しています。現在、MGLゼダンス（運動部寮）と調整を行っており、体育館使用の許可を得ることが出来ましたが、学生たちの移動手段が限られており、特に夜間の徒歩や自転車での移動には不安があるため、長期休暇中や土曜日の午前中の使用を予定しています。しかし、通常練習は現在の法人本部棟を使用させていただきますが、来年度入部者数が増加（12名予定）することを加味すると、常に使用できる道場があることが望ましいです。	事情を詳しく知らないのですが、顧問の今村先生やMGLゼダンスの社長に照会する。
	6	駐車場の整備について 大学正門前の駐車場が砂利のため、タイヤがパンクしたという話もあるし、水たまりがでやすい環境となっている。舗装できないか。例えば学内の舗装された駐車場に駐車すればトラブルにはならないかもしれないが、通学車も増えてなかなか駐車することができなくなっている。	総務課 正門前の駐車場に関しては、水はけのための管布設工を実施し、少しでも水たまりが減るような対策は行ってきていることはご理解いただきたい。舗装については、ご要望は理解しているが、中長期的な観点で土地利用上の制限があり、舗装ができない状況。また舗装にかかる経費も、排水対策も含めて全面行うと、数千万円から数億円の規模が想定されており、現在の本学の財務状況と優先順位の高い教学への投資や修繕案件を考慮すると、なかなか予算を投じることが難しい状況。 一方、交通の便があまりよくない立地であることから、自家用車での通学はやむを得ないと考えるが、他大学の場合、ほとんどで自家用車通学に関しては一定の制限（大学からの居住地までの距離制限など）を設けている。予算面から全面舗装ができない場合、一部舗装となるが、その場合、駐車台数が限られ、舗装場所と未舗装場所の割り当てをどうするかや、利用制限をかけるを得なくなる可能性もある。 また砂利のためにパンクしたというのは一般的に考え難い、おそらく釘など鋭利なものが落ちていた可能性もある。グリーンキャンパス運動時に駐車場の見回りもしていたらどうか。ただ方がトラブルが発生した場合は事務局まで連絡をお願いしたい。	あのスペースは、将来的に何らかの施設を設置するという構想があり、現在は仮に学生駐車場として利用を認めている。砂利は水はけを少しでも改善するために必要な措置であることを理解して欲しい。 (事務局より) 今年のゴールデンウィークに、正門前駐車場の水はけを良くするための工事を実施しており、幾分かは改善されています。また、構内外のどここの駐車場を利用するかを問わず、自家用車で通学する場合は駐車許可証を申請して許可を受ける決まりになっています。このルールを学生一人ひとりがまず守るようお願いします。

第13回学長カフェ【2019.7.3】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
	7	プリンターサービスについて 以前、3302教室に設置してあるプリンターは、学生が無料で使えるものであったが、現在は使用できなくなっている。同じサービスを再開できないでしょうか。	教務課 無料プリンターは使用状況確認のために設置してあったもので、本来、無料でプリンターは設置していません。	(事務局より) 原則、受益者負担で図書館やメディアルームにある有料サービスを利用するようになっていきます。その3302教室のプリンターは(恐らく)過去に先生が自分用に設置したものだと思われる。
	8	教職のカリキュラムについて 本学のカリキュラムに校務分掌を学ぶ授業がなく、実際に卒業して教職に就いた先輩方が苦労しているという話を聞く。教育学部のある大学ではしっかり学ぶことができている。先日、長崎大学の学生と共同で研究授業を行ったが、そういった箇所を指摘された。教員が果たすべき業務を理解する授業をカリキュラムに取り入れて欲しい。	教務課 教職課程委員会で検討いたしました。 校務分掌については、「教師論」の中などでも扱っています。 単独でカリキュラムに入るような案件ではなく、教育実習の中で現場の先生方がどの様な役割を担っているかなどを観察ながら学ぶべきところも多く、教科教育以外に教員が行っている業務は多岐に渡るため、生徒指導論の講義等もしっかりと取り組んでください。	教職課程履修者は、最初の希望者から年次進行に従って数を減らしていつている。それは途中で履修を放棄しても卒業に影響がないため、しかし教育学部であればそうはいかない。本学で教職課程を履修する場合でも、絶対に教員免許を取得する覚悟を持って履修して欲しい。 (事務局より) 教育学部で学ぶ場合と人間社会学部の教職課程で学ぶ場合では差異が生じる。 例えば教職課程の単位は卒業要件単位には含まれない。 ただ、指摘の部分については妥当性があるので教職課程委員会で検討したい。 ただ科目設置はすぐにできるものではないので、それまでは単位にならない勉強会のような形になると思うが、それでもちゃんと出席できるのであれば実現させたい。
	9	施設設備について①【アンケートより】 先生方の研修室の入り口に、居場所が分かる看板のようなものを設置して欲しい。	総務課 設置を要望される主な目的は何になるでしょうか。一方、研究室入口への先行掲示については、不在などが明示されてしまうため保安面の観点から大学としての設置は困難と考えます。各教員については、オフィスアワーを設定していますので、その時間帯にいったん訪問されて、アポイントを取られてはいかがでしょうか。	
	10	強化指定部について【アンケートより】 大学というのは、学びの場であり、義務教育を終えた私たちにとって個人で学ぶ意欲が大切になってきますが、学内で生活する中で、目立つのが授業中に寝転がって睡眠する部活動生です。強化指定部だからといってキツイのは分かれますが、大学の意義をもっと分かって欲しいです。	強化指定部部長・顧問 【硬式テニス】 ご指摘、ありがとうございます。私はテニス部監督として、ご指摘いただいた事項については部活動の指導の中でも部員に対して指導しておりますが、改めて「大学の本分の学業」、「文武不岐の精神」、さらに本学の学生時代において「学業・競技方向上」の「二刀流」で頑張る様、伝えます。また今後、私自身、大学の「スポーツ・アドミニストレーター」として、スポーツ系の学生に対しても前述した内容を伝える様、努力します。 【女子バレー】 現状としては、各部(クラブ)単位で指導者が授業の態度などを指導しています。しかし、各部(クラブ)で温度差があるのは事実だと思います。今後の対応としては、スポーツ支援センターが立ち上がったので、そこで指導者研修会や事務、指導者、教員との連携を図り、授業態度や成績が思わしくない学生に対する支援を行っていくようにすればこのような問題は解消していくと思われる。 【ゴルフ部】 ミーティングを行い事実関係をして、もう一度大学で学び意義を理解させます。 【空手部】 実状は分かりませんが、他の学生に迷惑をかけているのであれば、問題かと思われま。空手部では、競技面だけでなく、学業面・生活面においても定期的に面談を行い、様子を伺っております。まずは団体として注意し、該当者がいる場合は、個別に指導していきます。 【駅伝部】 駅伝部としては、部長・顧問・コーチからも学業もしっかりと取り組むように指導しており、これまで注意を受けたことがない。成績表をみても、多くの学生が平均以上の出来である。部員数が少ないということ、また、競技特性上、コンコツと取り組むタイプの学生が多いということも関連しているかと思う。やや心配な学生もいることから、今後もしっかりと指導していきたいと考えている。 【ソフトテニス部】 一般の学生に迷惑をかけていることは非常に申し訳ない。強化指定部の部員として部活動だけではなく、生活態度、授業態度から他の学生の見本となるような行動をとらせるように指導していく。大学の一つのチームの代表としてみんなから応援されるようなチームになるためにしっかりと指導していく。 【アーチェリー部】 学ぶ意欲のない学生が他の学生の学習意欲を削ぐ様な授業態度は部活動生や強化指定部に限らず問題である。アーチェリー部では日頃から授業態度や学業への取り組みについて指導を行っているが、もしアーチェリー部の学生が大学の意義を理解せず授業中に寝転がって睡眠をする等の行動をとっているなら学業についての指導を学生が理解できるようにより一層厳しく行いたい。また、その場合は部活動停止などの罰則も視野に入れて対応したい。 【男子バレー部】 ご意見の通りと思います。学生の本文である、大学の授業・単位修得が優先(授業態度も含む)で、次に部活動だと指導しております。 男子バレーボール部員でこのような授業態度の学生がおりましたら、是非監督まで申し付けください。 厳しく指導いたします。 【硬式野球部】 大変失礼な態度であり、憤りを強く感じます。強化指定部員はよい活動成績をおさめることに加え、部員・人として鍛えられてきた分、品格を持ち合わせているものだと思います。これまで出席や授業態度について部員に何度も指導し、時には学内の巡視を行って参りました。事に触れ、教鞭をとられる先生方や真剣に授業を受けている学生に配慮した授業態度及び学内生活を送るよう、これからも継続して指導して参ります。	

第13回学長カフェ【2019.7.3】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
社会福祉	11	<p>沖縄県出身者が多いことについて</p> <p>私は野球ができて福祉を学べるという理由でこの大学に進学した。この大学は沖縄出身者が多いが、その理由やどんな取り組みをした結果で多いのか、教えていただきたい。</p>	<p>入試・募集</p> <p>右記に加えて感じる事は、本学の教員と学生の距離感が沖縄の高校に酷似している点です。 沖縄の高校の教員と生徒の関係性はフレンドリーでタメ口で会話するような雰囲気、本学でも、そのままのりで生活できる所だと思います。通常内地の大学に進学すると教員に敬語を使ったり、標準語で話そうとしてなかなか積極的に話せなかったり、そのためストレスを感じたりしますが、本学では沖縄とかわらない そのままの姿で生活できる所は、大きいと思います。 確かに卒業生の半数は健康栄養学科出身の管理栄養士が占めていますが、今後は他の学科でも、沖縄出身者の比率が増えてくるでしょう。</p>	<p>元々、沖縄に管理栄養士養成施設がなかった頃に、健康栄養学科が積極的な受け入れを行っていた経緯から始まっている。 その結果、エイサーサークルができ、他県出身の学生にも沖縄の文化が浸透していき、薬学部や硬式野球部ができてからも沖縄との縁が続いているためである。 沖縄出身の卒業生の数は232名。これだけの数の人材を輩出し多くが沖縄で働いていることから、沖縄を大切に思う気持ちは変わらない。 そのことは、沖縄県でも保護者懇談会を開催し、ここでは同窓会や懇親会も併せて開催していることにも表れている。</p>
	12	<p>施設設備（バリアフリー）について</p> <p>私はピアサポートに所属し、大学のバリアフリーMAP作成にも関わった。 その中で、バリアフリー化された後の傾斜でも厳しい事実が分かった。 前向きに改善して欲しい。</p>	<p>CHS / 総務課</p> <p>【総務課】 指摘があった箇所は必要に応じて改修を実施中。今後も何かあればCHサポートセンターを窓口ご連絡をお願いしたい。 【CHS】 ピアサポート活動へのご協力ありがとうございます。 2018年度に学長裁量経費採択プロジェクトとして、長崎国際大学ピア・サポート学生組織（以下、NPS）が中心となって学内のバリアフリーマップを作成しました。今年度もNPSにより、学内を調査し改善点を確認しています。その調査によって挙げられた改善点については、今後もCHサポートセンターを通して、関係部署と連携をとり、前向きに改善していく予定です。</p>	<p>問題点については、ぜひCHサポートセンターなどに申し出てください。 皆さんの調査結果を検証し、改善すべき箇所は改めます。 (事務局より) バリアフリーMAP作成時、ちょうどLAWSON設置の工事終了前で、実際に入り口のスロープを車イスの学生に体験してもらい、傾斜がきついため追加工事を行いました。 スロープなどは1/12という基準値が建築基準法上にあるらしく、その基準はクリアしていたものの、やはり現実的には厳しいということが分かりました。 その他の箇所も、リクエストをいただければ対応すべきものは対応します。</p>
	13	<p>授業アンケートについて【アンケートより】</p> <p>授業アンケートについてですが、私は結果や先生方の回答も見ることができて、去年と比べて先生方に改善が見られない時もあり「書いても変わらない」という周りの意見も耳にしたことがあり、少しでもいいので改善していただきたいです。</p>	<p>各学科長 / 大学評価・IR / 教務課</p> <p>【国際観光学科】 国際観光学科では、貴重な指摘や改善されるべき事柄がアンケートで指摘された場合には、学部長、学科長、自己点検評価委員が同席して、担当の先生方への聞き取りを実施しています。この聞き取りを通じて改善すべき方向性や具体的な問題点の指摘、アドバイス等も行ったおります。同一の先生の同一の授業を同一の学生が再履修するケースはむしろ稀かと思いますが、改善状況等については年度の人事考課等でも再確認する様にしています。個別の希望等があれば、年度の途中でも構いませんので、学科にあげていただければ随時対応したいと思います。 【社会福祉学科】 授業アンケートのコメント欄は、教員にとって授業を振り返る良い機会となり、いつも感謝しています。今後、「コメントを書いて変わらない」という印象を持たれないよう、今回の意見を学科全体で周知し、一層の改善に着手していきます。 【健康栄養学科】 学生からの意見は、各教員が必ず確認し、改善策をたて可能な限り今後の授業に反映させています。また、教員同士の授業参観により、教員からの指摘に対しても改善に取り組んでいます。今後も学生が満足できる授業になるよう努めますので、授業アンケートだけでなく、リフレクションカードなどを活用して意見・要望を出して下さい。 【薬学科】 薬学科では、年間2回、授業アンケートでの評価が低かった先生（毎回5～8名程度）に対して、学部長、学科長、自己点検・評価委員との4者面談の機会を設けている。各先生の具体的な取り組みを共有して、以後、授業改善が確実に進むように注視している。この取り組みにより、評価が上昇した教員、改善傾向にある教員も増えてきている。ただし、ごく一部の教員については、改善が為されていない場合もみられる。</p>	
健康栄養	14	<p>wi-fiについて</p> <p>4号館、5号館のwi-fiが脆弱で通信に支障をきたしている。改善できないか。</p>	<p>総務課</p> <p>Wi-Fi環境も当初の導入よりかなりの年数が経過していますので、大幅な改修時期であることを認識しており、検討しています。昨年もアクセスポイントを3か所増設しており、随時対応はしています。 ただ、こちらで調査しても同様の状況が出ない場合が多いので、どの教室でどの時間帯に繋がりにくいなどの具体的な意見があると助かります。</p>	<p>全館でwi-fiが使える環境にしているが、4号館が繋がりにくいという話は聞いたことがある。技術的なものか、建物の構造的なものか、原因を今述べることはできないが、調査して改善したい。</p>
	15	<p>公共交通機関（バス）について</p> <p>祝日に振替講義が開催される場合、平日と異なり路線バスの数が極端に減ってしまう。バスが満車で乗車できないケースが多々あるので、バス会社に増便を依頼するなどできないか。</p>	<p>学生課</p> <p>西肥バスに照会したところ、慢性的な運転手不足であり、増便については「困難」との回答でした。今後についても、見直しは厳しいようです。</p>	<p>バス会社からは、学生向けに定期代を割り引いてくれるなどの配慮を頂いている。 バスの運転手の手配や車両の確保など会社に事情があって簡単ではないだろうが、祝祭日の増便について、その可否を問い合わせたい。</p>
	16	<p>周辺道路の環境について</p> <p>広田方面から大学に行く手前の踏切前が朝方は必ず渋滞するので、右折用の信号を設置するなど渋滞緩和を措置して欲しい。</p>	<p>学生課</p> <p>早岐警察署に照会したところ、交通事情は十分に理解されており、早岐警察署から県警本部に相談していただいた結果「この程度の交通量では優先順位が低い」との回答であったとのことでした。</p>	<p>踏切前は渋滞だけでなく危険性もあることは十分承知している。 早岐警察署など、関係機関に相談していきたい。</p>

第13回学長カフェ【2019.7.3】（学生の意見と回答について）

学科	No	学生からの意見・要望	担当部署回答	当日の学長回答（要旨）
	17	Edyについて まずは前回の学長caféで意見した栄養教育論実習室のパソコンの入れ替えが進捗していることに感謝します。Edyについて、LAWSONでも学食でも使用できるのに、学内にチャージできる場所がないのでお願いしたい。	学生課 LAWSONのカウンターでEdyのチャージが可能です。	(事務局より) LAWSONのカウンターでEdyのチャージが可能です。
	18	提供された茶菓の器について 本日提供されたケーキの器について、例えば波佐見焼にして地域活性化に貢献する姿勢が見たいし、スプーンやコップもプラスチックや紙でECOではないと考えます。	学生課 エコロジーに関しては、総合的に鑑み対応できることから対応するようにします。	エコロジーの必要性を発信していない私の責任でもある。ただ、器を使うことで洗浄のために水資源を使い、配膳してくれたスタッフが時間をかけることで人件費もかかってくるという面も理解して欲しい。
	19	施設設備について② 梅雨の時期など、雨が連続と薬学部棟と4号館の間に大きな水たまりができる。 また、薬学部と人間社会学研究棟をつなぐ1Fの通路も、屋根はあるものの風が強く雨よけとして機能していない。改善できないか。	総務課 水たまりは改善を検討。研究棟・薬学棟を繋ぐ通路の問題は把握していますが、本学の強風に耐える・大型の屋根となると多額のコストがかかりますので、学長と同様に将来的には改善をしたい。	5号館、6号館は開学後に建設され、そこを繋ぐように通路が設置されているので、雨を避けながら全館を巡回しにくい構造になっている。予算上、すぐには無理であろうが、将来的には改善したい。
	20	施設設備について③ 薬学部2Fの連絡通路は学生自習室にもなっている。ただ日差しが強いので、それを遮るためのカーテンを設置して欲しい。	薬学事務室 昨年(2019年)の8月に6号館2階連絡通路へロールカーテンを設置しました。日差しが強い時は、随時利用してください。なお、壊れやすい品物ですので、丁寧に扱ってください。	薬学部1Fのエントランスにはロールカーテンを設置した。2Fについても、これから設置する予定です。
薬	21	昼食の確保について 薬学部に所属していると、2限目終了後に学食に行っても満席、LAWSONも人で溢れている状況がある。せめて学食の席を増やして欲しい。	学生課 学食の座席については学生数に対し不足していることは認識しています。学食及びローソンについてはピークを避け上手に利用していただければと思います。	(事務局より) 学食には740席あるが、利用者の流れとして、12:10～12:20の1次ピーク、12:30～の2次ピークがある。1次ピークに乗りきれない場合は、1次ピークの波が引くタイミングで利用して欲しい。
	22	夜間の大学施設利用について②【アンケートより】 時間がなくて大学に残って勉強したい人はたくさんいるので、夜の時間まで開放して頂きたいと感じました。近場のカフェやレストランでは、勉強する人が多く苦情が来るときもあります。大学主催の勉強できるカフェなどができればもっと良いと思います！	総務課 学生が残る場合、施設・設備の故障・異常、不審者や傷病発生時の対応が必要になるため、現在の人員体制では保安面・安全面から夜間の開放は困難です。基本的には図書館を利用し、それ以外の時間帯は自宅など周りの方に迷惑をかける場所勉強を行っていただきたい。	
学生会	23	社行会について 事後の反省会の中で、学生会主催行事として、強化指定部だけでなくもっと一般の学生に対してアピールし、実際に参列してもらいたいという意見が出た。 どうすればもっと全学的に関心をもってもらえるか、よいアイデアがあれば教えてもらいたい。	学生課 社行会については、学生会の発案により2年前より実施しています。内容、開催時期、参加者、広報、準備など改善すべきところはまだまだありますが、継続することが大切です。今後も学生会活動の一つとして、実施できるよう、学生課もサポートしていきます。	去年から始まり2回目となる社行会について、前回よりも良くなった部分もたくさんある。良い部分を毎年積み上げていくことが大事ではないか。個人的には、開催時期が大会後であり、本来の主旨から外れている。種々の事情でやむなしは理解しているが、であれば優勝旗やトロフィー、賞状などを誇示し、一般の学生が関心を持ってくれるような工夫も必要だと思う。